

開設科目名	キャリアデザイン・ゼミナールB07 ■安全・安心のまちづくり実践講座■	単位数:1	担当教員:井上容子、瀬渡章子、 増井正哉、中山徹、 向井洋一(生活環境学部)					
開講期	前期	授業方法:演習	週時間:2					
対象学生	全学 全年次	科目番号:009137	水曜日	5・6時限	E416教室			
授業の概要	地域との連携を取りながら、大学周辺地域の生活環境の現状を防犯・防災の面から把握し、地域が積極的に「安全安心のまちづくり」に取り組んでいく上で、学生自身がどのように地域に貢献していくことが出来るのかを考えていく。更に、地域の生活安全や生活環境整備に携わる関連諸機関と連携を取りながら環境改善を考えることで、地域の環境整備活動に役立つ能力を養成する。							
学習・教育目標	①大学周辺地域の生活環境の現状を防犯・防災の面から把握する。 ②問題を発掘し、地域に如何に貢献していくことが出来るのかを自ら考える能力を養う。 ③環境整備活動を実施するにあたっての、自治会、自治体をはじめとする地域の生活安全や生活環境整備に携わる関連諸機関との連携の取り方を学ぶ。 ④地域の環境整備活動「安全安心のまちづくり」に必要な基礎的専門知識を関連講義(副科目)を通じて学習し、改善活動実践能力を養成する。							
キーワード	安全・安心、まちづくり、地域連携、犯罪抑止、事故防止、災害防止							
授業計画	授業は前期不定期として実施(90分×7.5回) 【演習の流れ】 1. ガイダンス 2. 「安全安心のまちづくり」に関する講習会:ゲストスピーカー 3. フィールド調査テーマの決定(*) 4. 調査計画書作成 5. フィールド調査実施 6. 報告書作成 7. 活動報告会(公開) 【フィールド調査のテーマ(*)】 フィールド調査のテーマは下記に例示するように多種あるが、連携機関とも合議し、何れかに絞り込み、全員で一つのテーマに取り組む予定。 (1)通学路等の危険箇所マップ作成(事故、犯罪) (2)公園の遊具の安全面からの現状チェック (3)建具・家具への地震対策チェック (4)住宅の空き巣対策チェック (5)防犯灯の設置状況と夜間の明るさチェック (6)防犯自治活動の実態調査							
教科書	指定無し							
参考書	必要に応じて随時紹介							
成績評価方法	調査計画立案、調査実施、結果の分析、報告(改善提案を含む)という一連の活動を総合的に評価する。							
評価割合	定期試験(中間・期末試験)	小テスト・授業内レポート	宿題・授業外レポート	授業態度・授業への参加度	受講者の発表(プレゼン)	出席	調査報告レポート	合計
	%	%	%	30%	20%	%	50%	100%
備考	本科目は「キャリア教育科目」に属する。受講登録手続で記入する科目名は、「キャリアデザイン・ゼミナールB07」のみでよい。卒業要件単位には数えない。 ①住環境学科平成18年度以降入学者は「住環境学フィールド演習Ⅴ」(科目番号:065860)で登録すること。 ②受講希望者が多い場合は選考する場合があります。 ③副科目:建築・住宅史、一般構造学、建築装備学Ⅰ、住環境計画学、都市計画学Ⅰ(ただし、これらの副科目が未履修であっても、本科目の履修は可能です。) 初回の開講日/教室などについては、掲示に注意すること(問合せは、学務課学務係へ)。							